

第83回（令和7年12月）文章入力スピード認定試験（日本語）問題

わたしたち人間の暮らしは、さまざまな動物に支えられているのと同時に地球環境は、健全な自然の生態系と生物の多様性が維持されていることで保たれています。こうした中で、わたしたちにとって身近な動物の一つに鳥が挙げられます。これまで彼らとさまざまな形で関わりを持ってきましたが、国内では、500種以上が確認されています。およそ1億5千万年前、恐竜の一部から進化したとされる鳥類は、地球の生態系が機能するために重要な役割を果たしています。

ひとくくりに鳥類といっても、何をえさとしているかはその種類によって異なり、自然界においてさまざまな役割を持っています。果実を食べる小鳥は、種子を遠くへ運び植物の分散をします。花を好む鳥は花粉を運び受粉を助けています。他にも虫を食べるものがありますが、よく知られているのはキツツキでしょう。彼らは、木の幹をくちばしで掘って捕食するのです。樹木にとって害となる虫を食べることで森林の健康を保つという役割も担っています。さらに、その穴を巣にして子育てをしますが、彼らが使わなくなった後は他の野鳥やリスなどが再利用します。また、タカはヘビなどの小動物を食べますが、逆に自分が大きな動物の獲物にされてしまうこともあります。このように、生き物が弱肉強食の関係にあることは言うまでもありません。もし鳥がいなくなると、どうになってしまうのでしょうか。草食昆虫が増え続け、植物が食べ尽くされてしまうかもしれません。そうすると、結果的に彼らの生きる環境も失われてしまうという悪循環になります。

さて、わたしたちが日常生活で最も姿を目にする鳥といえば、カラスではないでしょうか。全身が黒いことから日本では不吉なイメージを持たれがちですが、神話に登場したり地域によっては神の使者とされたりしています。また賢い生き物としても知られ、これを裏付ける話がたくさんあります。くるみを食べるためにわざと道に落とし、車がそれを踏んで殻が割れたところを食べたという話は有名です。これはただの偶然ではなく、タイヤが通る場所を把握し、うまくいかなければ置き直す姿も目撃されています。さらに、信号の意味も理解しているようで、赤になり車が止まるとくるみを置いて、割れた後も青になるまでの間は待っていたといえます。彼らは体に対して脳の比率が大きく、記憶や判断といった知性に関連する大脳は、他の鳥よりも発達していることが分かっています。都市部では、ごみを荒らすなどの問題を起こすこともありますが、害虫などを食べて街の掃除をしてくれているという側面もあります。彼らのこうした行動は、わたしたちを困らせるためではありません。彼らが生きていくために必要なことをしているに過ぎず、きっかけを生み出しているのは人間なのかもしれません。これからの自然との関わりを考えるうえで大切なのは、わたしたちが多様な生き物の暮らしを理解し、共に生きる姿勢を持つことではないでしょうか。

これまで日本製品は、世界中でジャパンプランドとして高い評価を受けてきました。その理由は、圧倒的な品質の高さと性能の安定性にあります。うれしいことに、日本製と聞くだけで信頼できるというイメージが浸透しており、その優れた耐久性や、不良品の発生が極めて少ない点から、安心して使えるものとして親しまれてきました。1980年代か

ら1990年代にかけては、冷蔵庫や洗濯機、テレビなどの家電から、乗用車やカメラに至るまで世界中に広まり、多くの家庭で使われるようになりました。	1,422 1,454
しかし近年は、国産品の中で特に支持を集める分野に変化が見られます。かつて世界市場を引っ張っていた家庭向けの一般的な家電製品は、アジア諸国の企業によって低価格かつデザイン性に優れたものが販売され、価格競争の中で苦戦を強いられるようになりました。また、スマートフォンや薄型テレビといった分野では、現地の需要にきめ細かく応える力や、短いサイクルで製品を刷新する速さが重要視されるようになり、従来の強みだけでは対応が難しい場面も増えてきているようです。	1,494 1,534 1,574 1,614 1,654 1,678
一方で、今もなお世界の多くの人々から高い信頼を寄せられている分野もあります。自動車産業はその代表例であり、燃費性能や安全装備、信頼性において高く評価されています。また、レンズやカメラといった光学機器、さらには医療などの分野で使われる精密装置などでも、高度な加工技術と耐久性が評価され、専門家から選ばれ続けています。	1,718 1,758 1,798 1,837
さらには、生活に密着したアイテムや文化的な製品も注目されています。特に外国人観光客の間で人気が高いのは、やはり和を感じられるものです。風呂敷や扇子、陶器などが好まれています。中でも漢字が入ったデザインや、市松や桜散らしといった古典模様のものは、文化圏の異なる人たちには新鮮に感じられるようです。また、海外の文房具などは比較的シンプルなものが多いようですが、わが国には天ぷらやすしを模したマグネットや香り付きボールペンなど、実用性だけでなく、遊び心を兼ね備えたものがたくさんありお土産として喜ばれているようです。その他、国内でも話題となった消せるボールペンは、画期的な機能を持つアイテムとして世界中で支持され、2019年には累計30億本を突破し120以上の国と地域で販売されています。こうしたさまざまなアイデアを基に作られた製品は、単なる道具を超えた価値を提供しているといえます。	1,877 1,917 1,957 1,997 2,037 2,077 2,117 2,157 2,197 2,230
そして、アニメやゲーム文化の浸透とともに、これに関連したものも注目を集めています。登場キャラクターのフィギュアや衣装、雑貨や文房具など、あらゆる関連グッズが世界中にファンを持ち、今では文化輸出の柱の一つとなっています。特定の作品を愛する人たちの中には、その舞台を訪れるために来日する人もおり、それをきっかけにこの国を深く知ろうとする動きも広がっています。動画共有サービスなどを通じて紹介される体験は信ぴょう性のある情報として受け止められ、多くの人々の興味を引いています。物理的な質に加え、それを生み出した風土や背景、そこに込められた丁寧さや思いやりといった価値観が、国を超えて共感を呼んでいるのです。これからもこの国の製品が世界に支持され続けるには、伝統を守りつつも、新しい感性を取り入れる柔軟性と、時代に応じた対応力が求められます。品質という強みを土台としながら、より広い視野で世界とつながることこそが、ブランドの未来を築いていくかぎとなるのではないのでしょうか。	2,270 2,310 2,350 2,390 2,430 2,470 2,510 2,550 2,590 2,630 2,663